

## 計画策定の基本的な考え方

平成30(2018)年度に策定した「山中湖村観光振興計画～全村が魅力にあふれ、訪れたい山中湖村～」が令和4(2022)年度に終了したことを踏まえ、外部環境・内部環境の変化を捉えた新たに観光のビジョンと中期計画を策定します。

本計画では、前計画の基本方針、重点施策を継承することを前提に、「アフターコロナ」を見据えた新しい観光戦略、実施計画を策定し、今後5年間の観光振興の拠り所とします。

## 計画期間

計画の期間は、令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年間とします。

しかしながら、大きな社会情勢の変化や本村観光を取り巻く環境の急激な変化があった場合は、その都度見直すこととします。

## 目指すべき姿(観光振興ビジョン)

付加価値のあるリゾート地を目指して、未来に繋がる持続可能な観光立村の実現～山中湖、富士山と共に歩む持続可能な観光地域づくりへの挑戦～

## 基本方針

1. 山中湖村でしか楽しめない持続可能な観光を生み出すこと
2. 国内外に誇れる質の高いリゾート地としての景観を守ること
3. 観光産業を中心に、各産業間の連携を進めて経済の発展を図ること

## 山中湖村が抱える課題

### 1. 観光動向における課題

- ・ 観光入込客数の減少
- ・ 合宿、団体宿泊客数の激減
- ・ インバウンド観光客の激減
- ・ イベントの認知度、満足度が低いこと
- ・ マリンアクティビティ・体験コンテンツの満足度・再実施意向が低いこと
- ・ 富士山、山中湖以外の印象が薄いこと
- ・ 世代間で観光ニーズが異なること

### 2. 観光施策における課題

- 【ソフト面】
- ・ 特産品、名物料理の産品開発、ブランド化が不足
  - ・ 山中湖村としての情報発信、PRが十分ではないこと
  - ・ 各事業者間の連携が十分ではないこと
  - ・ コンテンツ開発、周遊コース設定における地域間連携が十分ではないこと
  - ・ 観光事業者の後継者不足
- 【ハード面】
- ・ 村内の二次交通網が脆弱
  - ・ 主要道路の渋滞がひどく観光客満足度が低い
  - ・ 雨天時の観光施設が少ないこと
  - ・ 山中湖の水質問題、村内観光地の景観、美観問題
  - ・ 各宿泊施設等における老朽化問題
  - ・ 村が所有する温泉施設等の改修問題

## 課題解決の方向性

### 1. SWOT分析

	強み (S)	弱み (W)
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山中湖でしか見られない富士山の魅力</li> <li>・ 山中湖を活かしたアクティビティ</li> <li>・ 国立公園などの豊かな自然環境</li> <li>・ 多様なニーズに応える宿泊施設</li> <li>・ 良好なスポーツ環境</li> <li>・ 多様な祭り・イベントの開催</li> <li>・ 教育旅行、合宿、長期滞在客受入体制の充実</li> <li>・ 首都圏、中京圏からのアクセスが良い</li> <li>・ 20代などの若い世代の関心が高いエリア</li> <li>・ DMO等の組織の立ち上げによる地域内連携</li> <li>・ インバウンド宿泊者数の割合が高い(2019年)</li> <li>・ リピーターが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一次交通、二次交通の不足</li> <li>・ 主要道路の渋滞・混雑</li> <li>・ 観光資源やアクティビティの認知度が低い</li> <li>・ 体験・アクティビティの満足度が低い</li> <li>・ 富士山・山中湖以外イメージが薄い</li> <li>・ 滞在時間の短さ</li> <li>・ 買い物できる場所が少ない</li> <li>・ イベントの認知度・満足度の低さ</li> <li>・ 特産品、名物料理の開発・ブランド化が不足</li> <li>・ 宿泊施設、観光施設の施設改修問題</li> <li>・ 観光施設のバリアフリー化</li> <li>・ 山中湖の水質、村内景観・環境保全問題</li> </ul>
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅行需要に平準化が見られる</li> <li>・ 自然志向や健康志向の高まり</li> <li>・ エシカル志向やサステナブル、SDGsの意識の醸成</li> <li>・ ワークーションなどの新たな働き方・旅行スタイル</li> <li>・ 地方移住への関心の高まり</li> <li>・ マイクロツーリズムの進展</li> <li>・ 国立公園満喫プロジェクトやインバウンド政策パッケージなどの動き</li> <li>・ インバウンド復調の兆し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 急速な少子化や旅行の多様化による合宿需要・規模の減少</li> <li>・ 自動車を持たない若者の旅行行動及び高齢者のマイカー旅行離れ</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響</li> <li>・ 周辺観光地の高付加価値化及びプロモーション展開</li> <li>・ 高齢化による担い手の減少</li> <li>・ 日本人による海外旅行の復活</li> </ul>
	機会 (O)	脅威 (T)

### 2. 基本戦略

- ① 山中湖、富士山を核にしつつ、その他自然資源を生かした高付加価値な顧客体験価値を創出すること
- ② 次世代の観光客を取り込むべく若い世代やインバウンドといったターゲットに絞り、ニーズに合致したイベント・アクティビティ、コンテンツを作成すること
- ③ 交通問題、特産品開発など課題解決に向けた官民連携の推進強化

## 重点施策

### 重点施策①

山中湖村の魅力を活かした高付加価値な観光コンテンツを生み出すこと

- ① 地域資源を最大限活用した誘客事業の推進
- ② 特定ターゲットに向けた高付加価値商品の造成
- ③ 山中湖村らしいイベントの造成

### 重点施策②

ターゲットを意識した情報発信と受入環境整備の実施

- ① インバウンド受入環境整備の強化
- ② ターゲットを明確にした効果的な情報発信
- ③ 質の高いリゾート地としての景観の整備

### 重点施策③

持続可能な観光地づくりと経済効果の最大化を目指した官民連携の推進

- ① 観光推進体制の強化
- ③ 観光を活かした地場産業の振興
- ④ 官民連携した宿泊施設・観光施設、公共施設の維持

## 数的目標 (KPI)

	基準年 (2021年度)	達成年 (2027年度)
目標① 旅行消費額	173億円	311億円
目標② 延べ宿泊者数	39万人	83万人
目標③ 着地型コンテンツ販売額	232万円	694万円
目標④ 山中湖村ファン数(SNS)	1,300人	6,100人

## 各重点施策における実施項目

### 重点施策①における実施項目

- 山中湖村の魅力を活かした高付加価値な観光コンテンツを生み出すこと
- ① 地域資源を最大限活用した誘客事業の推進
    - ・自然環境や温泉、郷土料理などを活用した滞在型旅行商品の造成
    - ・歴史・文化、伝統を活用した文化観光の促進
    - ・オリンピックのレガシーを活かした観光誘致事業の推進
  - ② 特定ターゲットに向けた高付加価値商品の造成
    - ・SDGs、環境保護、脱炭素等を意識したターゲット顧客向けの観光コンテンツ開発
    - ・山中湖村の魅力を活かしたインバウンドの推進
    - ・サイクルツーリズムの推進
    - ・ヘルスツーリズムの推進
    - ・石割山観光の促進
  - ③ 山中湖村らしいイベントの推進
    - ・イベントの認知度、満足度向上と宿泊客増加に繋がるイベント改革の推進

### 重点施策②における実施項目

- ターゲットを意識した情報発信と受入環境整備の実施
- ① インバウンド等受入環境整備の強化
    - ・案内看板等の多言語化
    - ・公衆トイレの洋式・バリアフリー化
    - ・二次交通の利用促進と充実(訪日外国人専用クーポン・シャトルバス事業)
    - ・ワーケーション等に対応した受入環境整備
  - ② ターゲットを明確にした効果的な情報発信
    - ・観光パンフレット、動画、観光キャンペーンによる魅力発信
    - ・多言語での観光情報の発信
    - ・山中湖村の魅力を活かしたインバウンドプロモーションの推進
    - ・WEBやSNS、メディアを活用した効果的な情報発信
    - ・地域資源を活かしたフィルムコミッション事業の推進
  - ③ 質の高いリゾート地としての景観の整備
    - ・山中明神前交差点・平野交差点・旭日丘交差点周辺整備事業

### 重点施策③における実施項目

- 持続可能な観光地づくりと経済効果の最大化を目指した官民連携の推進
- ① 山中湖村観光地域づくり法人(DMO)の推進・組織強化
    - ・観光関連団体との連携強化
    - ・観光戦略会議及び各種部会の開催(関係者との合意形成)
    - ・広域連携の推進、産学官連携強化
    - ・観光DXの推進(デジタル技術を活用したCRMの実施)
    - ・ツアーガイドの人材確保と育成
  - ② 観光を活かした地場産業の振興
    - ・山中湖村の気候に適した特産品の開発
    - ・観光事業者の労働生産性の向上
  - ③ 官民連携した宿泊施設・観光施設、公共施設の維持
    - ・観光施設等(紅富士の湯、石割の湯、交流プラザきらら、花の都公園の修繕計画)の維持管理とリニューアル計画
    - ・トイレプロジェクトの推進(公衆トイレの整備計画)
    - ・登山道整備計画(石割山の登山道等)
    - ・パノラマ台展望デッキ構想
    - ・宿泊施設等における高付加価値事業への参画検討

## ターゲット

**【ターゲット①】**  
**旅にテーマ、こだわりを持つファミリー層**  
 <居住地>  
 東京都、神奈川県を中心とした首都圏/  
 静岡県、愛知県を中心とした中京圏  
 <年齢層/グループ>  
 30代~40代(小学生以下の子連れ)/家族旅行  
 <ニーズ>  
 家族で自然体験をしたい、SDGsを学びたい、  
 キャンプ・グランピング等アウトドア体験をしたい

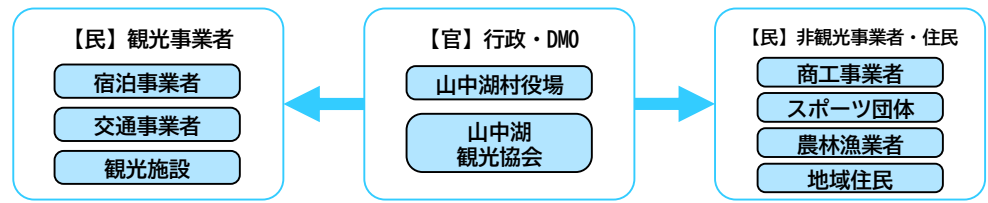
**【ターゲット②】**  
**欧米豪、台湾、香港、東南アジア系の個人インバウンド**  
 <居住地>  
 欧米豪、台湾、香港、東南アジアの国々  
 <年齢層/グループ>  
 30代~40代/ファミリー層、個人旅行者  
 <ニーズ>  
 富士山鑑賞、サイクリング、ヘルスツーリズム、  
 アドベンチャーツーリズム、カーボンニュートラル志向

**【ターゲット③】**  
**フェス、イベント、スポーツ、アクティビティ好きな若年層**  
 <居住地>  
 東京都、神奈川県を中心とした首都圏/  
 静岡県、愛知県を中心とした中京圏  
 <年齢層/グループ>  
 20代~30代/グループ旅行、個人旅行  
 <ニーズ>  
 フェス、イベント、祭りに参加/スポーツ、グランピング、キャンプ、アクティビティを満喫

**【ターゲット④】**  
**スポーツ宿泊団体・教育旅行団体**  
 <居住地>  
 東京都、神奈川県を中心とした首都圏/  
 静岡県、愛知県を中心とした中京圏  
 <年齢層/グループ>  
 大学生の合宿団体/中高校の教育旅行団体  
 <ニーズ>  
 サークル、部活の合宿、大会参加、対外試合希望/自然環境・保全、SDGsをテーマにした課外学習、修学旅行

## 推進体制

「観光」をテーマに官と民(観光事業者+非観光事業者、住民)が連携した推進体制を構築



## 各重点施策のスケジュール

令和5(2023)年	令和6(2024)年	令和7(2025)年	令和8(2026)年	令和9(2027)年
①山中湖村の魅力を活かした高付加価値な観光コンテンツを生み出すこと				
	②ターゲットを意識した情報発信と受入環境整備の実施			
③持続可能な観光地づくりと経済効果の最大化を目指した官民連携の推進				